

トリトングループ TRITON XV



艇の紹介

メンバー紹介

過去と現在と将来の夢

艇の写真

[facebook](#)

TRITON 15世 葉山沖

艇の紹介

艇名：ギリシャ神話の海神ポセイドンの息子

艇種： [BENETEAU First 30](#)

現在迄の変遷

西暦	艇名	艇の種類	帆番号	仕様と造船所
1960	TRITON 6世	シーホース	187	外板桧 クリンカー張 横浜岡本造船
1967	TRITON 7世	シーホース	273	外板杉 横浜岡本造船
1972	TRITON 8世	シーホース	540	3枚合板 森井造船
1974	TRITON 9世	シーホース	273	3枚合板 壺谷造船
1980	TRITON 10世	クルーザー26ft	2712	FRP NJY ソレイユルボン 8米
1985	TRITON 11世	シーホース	723	2枚合板 江ノ島岡本
1993	TRITON 12世	シーホース	831	FRP 江ノ島岡本
1994	TRITON 13世	クルーザー30ft	2712	FRP NJY エスプリデュバン 9米
欠番	TRITON 14世	—	—	—
2011	TRITON 15世	クルーザー30ft	6550	現使用艇 FRP BENETEAU First 30

トリトン1世から5世迄は戦前に湘南で活躍した日本ヨット界のフロンティア大村泰敏氏(旧華族、伯爵)の所有艇で当時の限定規格級「国内5メートルクラス」のレースでの常勝艇だったそうです。戦後は、このクラスのレースは復活せず大村氏は新艇建造を中止しました。

現トリトングループが最初のシーホースを建造する時に創立メンバーの一人でもある安田氏が大村泰敏伯の友人の葉山アルバトロス号の矢吹氏(旧華族、子爵)を通じ、艇名の譲渡をお願いした所「常勝艇トリトンの艇名を汚さぬなら」との条件で譲って貰いトリトン6世と命名しました。お三方共既に故人となりましたが、船名の由来は現在のクラブメンバーにも語り継がれて、励みとなっています。

トリトングループはこの船名を大事に継承し、それ以降の新艇にはトリトン〇〇世と名付け、運用しています。

その後、トリトングループは船を更新しつつ、65年間頑張ってグループをつなげ、現在に至っています。メンバーは全員が会社員でガス、印刷、通信、化学、計算機、不動産等の多業種に及び、ヨットに懸ける情熱を軸にグループを運営しています。

TRITON15世のメンバー紹介

	<p>創立者 グループ創立メンバー、2022?年 84歳までレースに参加。九州大学卒 ヨット部帆友会、飛行機免許等多彩、海外経験大 特技:チャートワーク、推測航法、古い時代の話も豊富だった。 何故か還暦前から「赤いツナギ」を着用していた。(1999 年記)</p>
	<p>ブルーウォーター派で、月に1,2度海が見たくて来る後期高齢者。 新木さんの勤務していた会社で部下、雨の日の同乗者不足で業務命令参加がスタート。以来60年葉山通い。葉山新港アルパトロスのメンバーと共に、本州一周、沖縄、四国行き、壱岐、対馬、博多釜山レース参加等が良い思い出。 特技:セイルボートならぬセイルプレーン(グライダー)操縦士、航海無線士他無線好き。</p>
	<p>大学時代は山のクラブで活動していましたが会社で新木、済田さんと同じ職場になり、葉山のヨットに誘われシーホースのレースに夢中になりました。その後仕事・家庭で忙しくしばらくご無沙汰でしたが、クルーザー購入でメンバーに返り咲き、今でもレースにはほぼ参加しています。その間葉山ヨットクラブの役員を4年勤め、他のクラブメンバーとも顔なじみとなり、今でも葉山に行くとき懐かしく談笑させてもらっています。</p>
	<p>学生時代以来スナイプ、シーホースとディンギーレースを楽しんできた。今でもシーホースの運営に参加中。クルージングは船酔いするため、参加率はあまり高くない。 数年前からラジオ・セーリングも始めた、これからは eSailing も面白いかと。現在、ルールの勉強中。好きなことは船の上で寝ること。無線免許保有。</p>
	<p>学生時代、体育会系ヨット部に所属し、葉山森戸海岸でのスナイプを経験。以来、社会人独身時代から、ヨット発祥の地:葉山の海と、帆走の素晴らしさに魅了され活動を続ける。還暦を過ぎ、妻よりも長い付き合いの本チームおよびHYCを最大の財産と誇りに思い、バウマン・食当・修理屋・便所掃除等とHYCレース委員を務める。 趣味:物理学・数学(宇宙・素粒子)、仏教哲学(坐禅)、ゴルフ、囲碁、麻雀、園芸 いかにして、おいしい酒を飲むか?これが人生の目的です!</p>
	<p>社会人になり、トリトン(シーホース)メンバーに参加させていただき、その後クルーザー参加 楽しく温かいメンバーの中で海を快適に過ごしています シートがもっと楽に引けるよう筋力アップを目指して!!</p>

故 新木 一弘

済田 安司

原 敏弘

平松 靖皓

田口 藤孝

清水 俊雅

	<p>気がついてみれば、ヨット歴約40年。大学では4年間、江ノ島をベースに470級に乗り、卒業後、トリトンJrに参加し、約12年間シーホース葉山フリートで主にレースで活動。その後、トリトン13世(エスプリデュバン)に乗りはじめ、クルーザーの楽しみも覚えた。現艇のトリトン15世(F30)ではレースの緊張感と達成感、そして好天のクルージングでの安らぎ感の両方に魅力を感じる。今後も末永くヨットライフを満喫したい。逗子市在住。1級小型船舶免許保有</p>
	
<p>佐久 良弘</p>	<p>大学ではヨット部でスナイブにのり、三浦市三戸浜にて朝から日が沈むまでの練習の合宿生活。卒業後はテザーにのり、稲毛 YH をベースに葉山、猪苗代湖、大阪北港、浜名湖などの国内遠征やメルボルン世界大会に参加。その後、トリトンメンバーに加わり、メンバーとレースやクルージング、アフターヨットを満喫中。今後は釣りも楽しみに加えたい。</p>
	<p>大学4年間体育会ヨット部で海上生活を送る。会社員生活を始めたが、夕気が抜ける間もなく、会社の先輩であり高貴な雰囲気を出す平松さん(Gentleman HIRAMATSU)に誘われ、優雅なヨット生活を夢見たが……。八丈島、三宅、大島、伊勢大王崎、下田などクルージングにはまる。クルーザーレースには貢献できていないが今後に期待か…！！？</p>
<p>岩田 貴明</p>	<p>大学でヨットを始めスナイブ乗りとして過ごす。トリトン参加後はシーホースでディングレースに出場。 チームとしては琵琶湖での奇跡の全日本総合4位が最高位。現在はシーホースを引退してクルーザーメンバーとなるが、参加率が低いので日焼けもせず体形もだいぶ緩んでいるこの頃です。</p>
	<p>音 洋行</p>
	
<p>矢島 宏直</p>	

過去と現在と将来の夢

過去 1	<p>1960年～1994年</p> <p>1960年にシーホース1隻メンバー4人で発足したグループもやがてシーホース2隻、メンバーも10人以上となり20年後の1980年には1隻をクルーザーとし、シーホースとクルーザーのグループになりました。クルーザーに乗っても過去20年のデインギーセーリングの癖は治らず午前出港、午後帰港のデインギーセーリングを繰り返し、クルーザーらしい航海で他の港に入港し1泊したのは1986年8月の熱海が最初でした。その後の夢は大島で1993年迄の7年間に何度も挑戦を繰り返し、その都度、挫折していました。</p>
過去 2	<p>1994年～2010年</p> <p>30ft艇のNJYエスプリデュバンを1994年5月20日に静岡県から油壺へ陸送し三崎マリンで進水させ葉山に回航しました。同年8月にトウキョウズカップに出場しました。</p> <p>昨年まで、どの様に努力しても到達不可能だった波浮港に午後2時に入港した時は26フィートと30フィートのクルージングスピードの差を痛感し、感激と満足を全員でしみじみと味わいました。</p> <p>それから毎年、伊豆七島、伊豆半島、房総半島と船足を延ばし限定沿海区域(布良-御蔵島-妻良)の入港可能な港は訪問つくしてしまいました。その後、メンバーの操船経験の向上と共に航程も伸び、途中民宿を楽しみながら、鳥羽(2008年)、八丈島(2009年)とロングクルージングも経験しました。</p>
現在	<p>2011年～</p> <p>慣れ親しんだNJYのエスプリデュバンも船齢を重ね、クラブレースでも上位に入れられない状況になり、何とか打開の為に、2011年、艇の更新を図り、ファーストマリンの紹介で、ベネトウのFIRST 30を購入しました。メンバーも増え、現在は12名体制でレースやクルージングを楽しんでいます。ここ2、3年やっと少し乗りこなせてきたようにも思われます。</p> <p>また、レースに同型艇(牛若丸)が参加してきたので、腕達者なライバルとのレースも楽しみにしています。</p>
将来	<p>20XX</p> <p>時間が取れたらメンバーそれぞれの都合に合わせて各レグに部分的に参加出来る様にして逆時計廻りに北海道、五島列島を含めて日本一周をしたい。</p> <p>35ft艇への更新もまた夢の一つです。</p>

艇の写真



シーホース 187(トリトン6世 1963 年夏)



シーホース 540(トリトン8世 1972 年)



ソレイユルボン 2712(トリトン10世 1992年) シーホース 723(トリトン11世 1987年)



シーホース 831(トリトン12世 2017年) エスプリデュバン 2712(トリトン13世)